

### 請求の範囲

- [請求項1] 浮体本体と、  
前記浮体本体に配置され、気相及び液相を有した二酸化炭素を貯留する第一タンクと、  
前記浮体本体に配置され、液体状態での温度が前記二酸化炭素の液相よりも低い液化可燃性ガスを貯留可能な第二タンクと、  
前記二酸化炭素と前記液化可燃性ガスとを熱交換する第一熱交換器と、  
前記第一タンクから前記第一熱交換器に前記二酸化炭素を導く送給ラインと、  
前記第一熱交換器から前記第一タンクに前記二酸化炭素の液体を導く返送ラインと、  
前記第一熱交換器を経た前記液化可燃性ガスを熱媒と熱交換することで前記液化可燃性ガスを気化させる第二熱交換器と、  
前記第二熱交換器で気化された前記液化可燃性ガスを燃焼させる燃焼器と、を備える  
浮体。
- [請求項2] 前記送給ラインは、前記第一タンク内の上部の前記気相から前記二酸化炭素の気体を前記第一熱交換器に導く  
請求項1に記載の浮体。
- [請求項3] 前記送給ラインは、前記第一タンク内の下部の前記液相から前記二酸化炭素の液体を前記第一熱交換器に導く  
請求項1に記載の浮体。
- [請求項4] 前記第一タンク内の前記二酸化炭素の液体を前記浮体本体の外部に送り出す揚荷配管に備えられた揚荷ポンプをさらに含み、  
前記送給ラインは、前記揚荷ポンプと前記第一熱交換器とを接続し、前記二酸化炭素の液体を前記第一タンク内から前記第一熱交換器に導く

請求項 3 に記載の浮体。

[請求項5] 前記第一熱交換器から前記返送ラインを通して前記第一タンクに返送された前記二酸化炭素の液体を、前記第一タンク内の上部に噴射する噴射部を更に備える

請求項 3 又は 4 に記載の浮体。

[請求項6] 浮体本体と、  
前記浮体本体に配置され、気相及び液相を有した二酸化炭素を貯留する第一タンクと、

前記浮体本体に配置され、液体状態での温度が前記二酸化炭素の液相よりも低い液化可燃性ガスを貯留可能な第二タンクと、

前記液化可燃性ガスと冷媒とを熱交換させる第一熱交換器と、

前記第一タンク内と、前記第一熱交換器との間で冷媒を循環させる循環ラインと、

前記循環ラインの途中に設けられて前記冷媒を循環させる循環ポンプと、

前記第一熱交換器を経た前記液化可燃性ガスを熱媒と熱交換することで前記液化可燃性ガスを気化させる第二熱交換器と、

前記第二熱交換器で気化された前記液化可燃性ガスを燃焼させる燃焼器と、を備える

浮体。

[請求項7] 前記循環ラインは、少なくとも前記第一タンクの気相を通過する  
請求項 6 に記載の浮体。